

## CIGS 宮家邦彦講演会

### 「2020年、日本外交・安全保障政策への提言」

これまで、キャノングローバル戦略研究所（CIGS）外交・安全保障チームは東アジアの安全保障環境を中心に、様々な角度から国際情勢の調査・分析に努めてきた。今回は、CIGS 創立 10 周年の機会に、日本の外交安全保障政策について初めて具体的な提言を行う。朝鮮半島を中心とする北東アジア情勢が大きく動き始めるなど、日本を取り巻く国際政治経済環境が激変しつつある。そうした中、本講演では、日本の外交、安全保障政策のあるべき姿だけでなく、それを阻む要因を如何に克服するかについても、具体的な方策を提示する。

#### <開催概要>

日 時：2019年9月24日（火） 14:00～16:00（13:30 受付開始）

場 所：一橋大学学術総合センター2階 一橋講堂

定 員：400名

講 師：宮家邦彦 キャノングローバル戦略研究所（CIGS） 研究主幹

#### <講演者プロフィール>

宮家邦彦

キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 / 立命館大学客員教授

1978年東京大学法学部卒業後、外務省入省。カイロ、バグダッド、ワシントン、北京にて大使館勤務。本省では、外務大臣秘書官、中東第二課長、中東第一課長、日米安保条約課長、中東局参事官などを歴任。2005年、外務省退職後、株式会社外交政策研究所を設立。2006年立命館大学客員教授。2006-07年安倍内閣「公邸連絡調整官」として首相夫人を補佐。2009年4月より CIGS 研究主幹（外交安保）。

#### <プログラム>

14:00 - 14:10 開会挨拶

福井 俊彦 （キャノングローバル戦略研究所 理事長）

14:10 - 15:30 講演 「2020年、日本外交・安全保障政策への提言」

宮家 邦彦 （キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）

15:30 - 16:00 質疑応答